

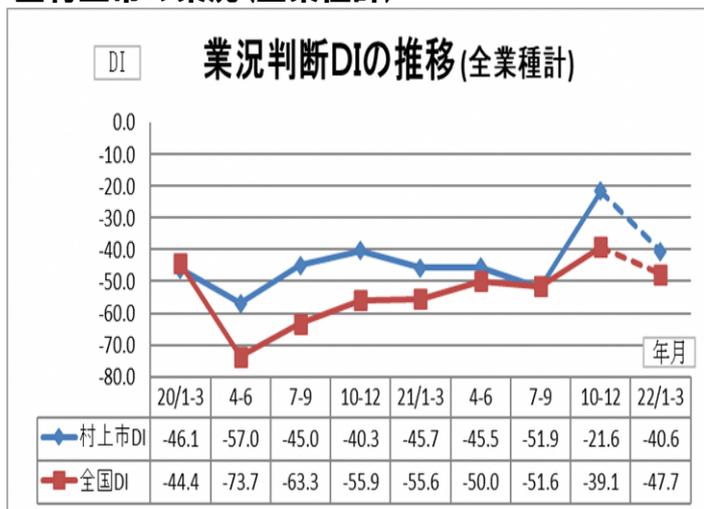


村上市 景況調査報告

〈令和3年10-12月期の実績・令和4年1-3月期の見通し〉

『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しいが持ち直しの動きがみられる』

■村上市の業況(全業種計)

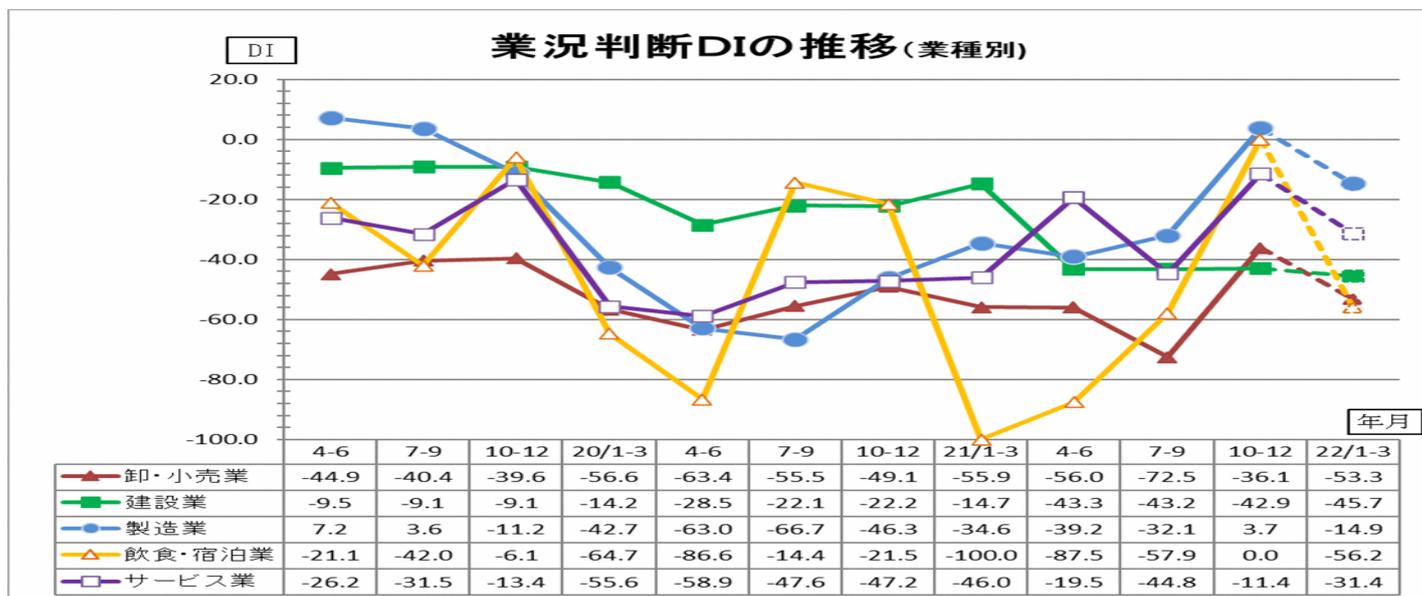


今期(10-12月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(7-9月期)と比べ30.3%上昇し▲21.6となった。前期における今期予測(▲27.4)より5.8%上昇し前年同月比では18.7%上昇した。全国DIは12.5%上昇し▲39.1となった。

来期(1-3月期)については、19.0%低下し▲40.6となる見通し。全国DIは8.6%低下し▲47.7となる見通し。

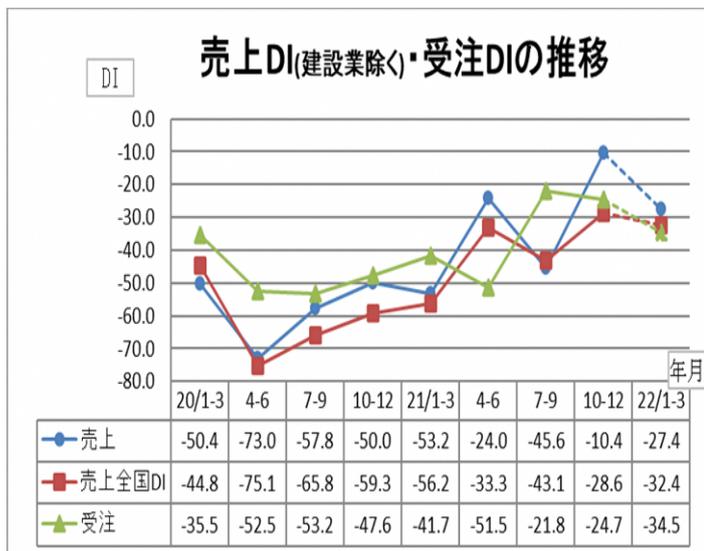
全業種においてDIが改善され、建設業の伸びはわずかだが、建設以外の業種では大きく改善した。これは県・市それぞれの政策の恩恵によるものだとコメントから伺える。

今後の見通しとしては、全業種において悪化するとの見方になっている。



■各業種の動向

卸・小売業	燃料販売業では、原油価格高騰の影響で灯油の売れ行きが鈍い。弁当小売業は、人が動かないので売上激減。観光客が立ち寄りのお店では、昨年のGoToほどではないが、今年は知っ得キャンペーンにより県内客の来客があり助かったとのコメントがある。 見通しとしては、まん延防止等重点措置が発令され、先行きが上向きになるような材料が見当たらない。	飲食・宿泊業	商品券・飲食券・はらこ井フェスティバル・宿泊割引(県・市)等により客数が増加したというコメントが多く、DIも大きく改善している。 見通しとしては、コロナ感染拡大の影響で自粛ムードになっているなか客足が読めず先行きが懸念されるため、DI値は大きく減少する見込み。宿泊業ではGoTo再開に期待が寄せられている。
建設業	建材等の納期の遅延や、ウッドショックによる資材の高騰、競争激化など負の材料が多い中、コロナに業績は左右されなかったというコメントもある。 見通しとしては、天候にも左右されるが、年度内は良好と判断しているところもあり、DI落ち込み幅は微減。	サービス業	自動車整備業では、売上不振というコメントが多く、理由として人口減少や人材育成難をあげている。染色業では、祭礼はないが村上地区外からの受注や主力の法被以外の注文があり助かったとのコメントもある。 見通しとしては、春には人形さま巡りなどのイベントが控えているが、コロナ感染者数の推移に不安が募っており、DI値は減少する見込み。
製造業	航空機部品製造業では引き続き厳しい状況が続いているが、コロナの影響は緩和され、商品単価値上げや積極的な営業により受注増加に向けて努力しているというコメントが数社ある。 見通しとしては、受注を確保しているところとそうでないところで業況の明暗が分かれている模様。		



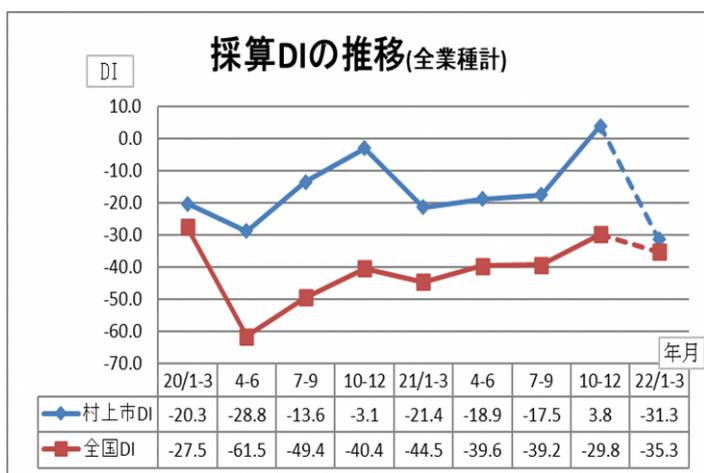
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、35.2ポイント上昇し▲10.4となった。前期における今期予測(▲37.6)より27.2ポイント上昇し前年同月比では39.6ポイント上昇した。全国DIは14.5ポイント上昇し▲28.6となった。

来期については、17.0ポイント低下し▲27.4となる見通し。全国DIは3.8ポイント低下し▲32.4となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、2.9ポイント低下し▲24.7となった。前期における今期予測(▲29.6)より4.9ポイント上昇し前年同月比では22.9ポイント上昇した。

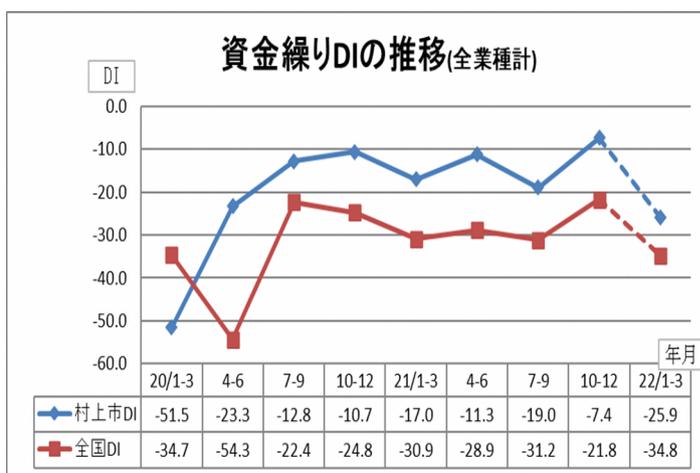
来期については、9.8ポイント低下し▲34.5となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	▲35.1	▲41.2	▲55.8
・製造業	▲3.7	▲3.6	▲7.4



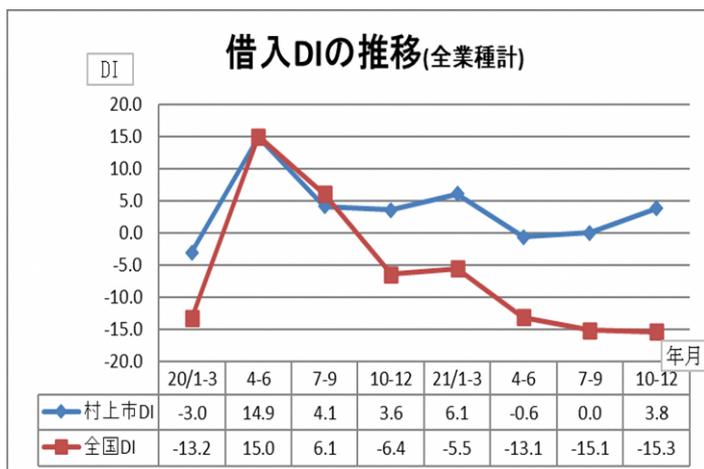
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、21.3ポイント上昇し3.8となった。前期における今期予測(▲8.4)より12.2ポイント上昇し前年同月比では6.9ポイント上昇した。全国DIは9.4ポイント上昇し▲29.8となった。

来期については、35.1ポイント低下し▲31.3となる見通し。全国DIは5.5ポイント低下し▲35.3となる見通し。



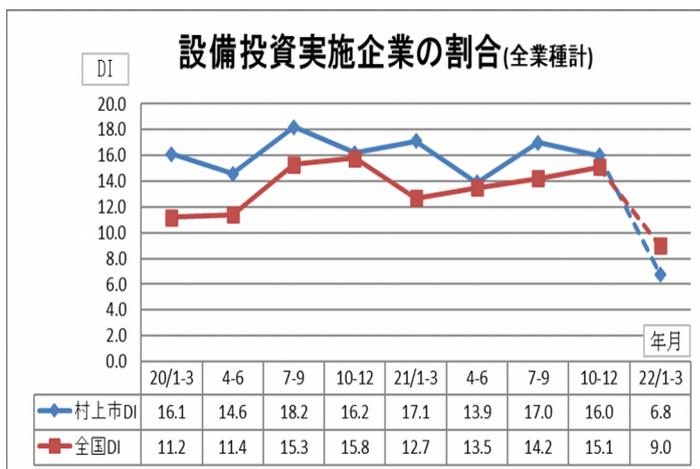
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、11.6ポイント上昇し▲7.4となった。前期における今期予測(▲24.2)より16.8ポイント上昇し前年同月比では3.3ポイント上昇した。全国DIは9.4ポイント上昇し▲21.8となった。

来期については、18.5ポイント低下し▲25.9となる見通し。全国DIは13.0ポイント低下し▲34.8となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、3.8ポイント上昇し3.8となった。全国DIは0.2ポイント低下し▲15.3となった。

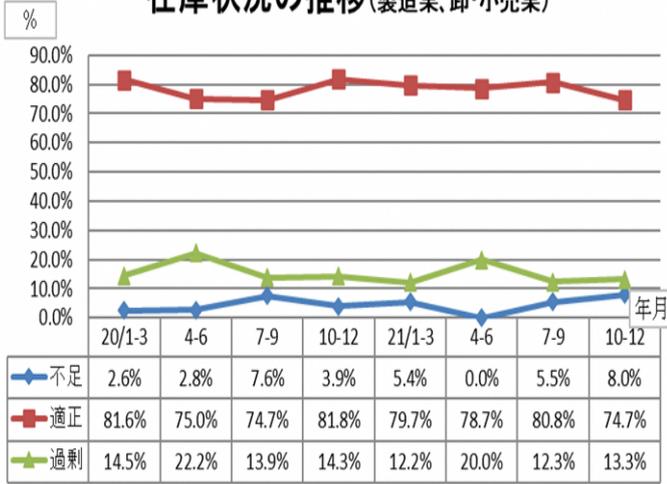
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	1.8%	→ 5.0%
・変わらない	38.1%	→ 35.4%
・難しくなった	1.8%	→ 1.2%



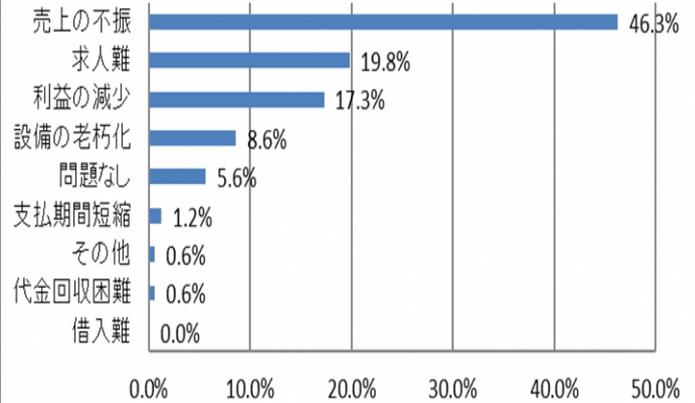
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、1.0ポイント低下し16.0となった。前期における今期予測(12.8)より3.2ポイント上昇し前年同月比では0.2ポイント低下した。全国DIは0.9ポイント上昇し15.1となった。

来期については、9.2ポイント低下し6.8となる見通し。全国DIは6.1ポイント低下し9.0となる見通し。

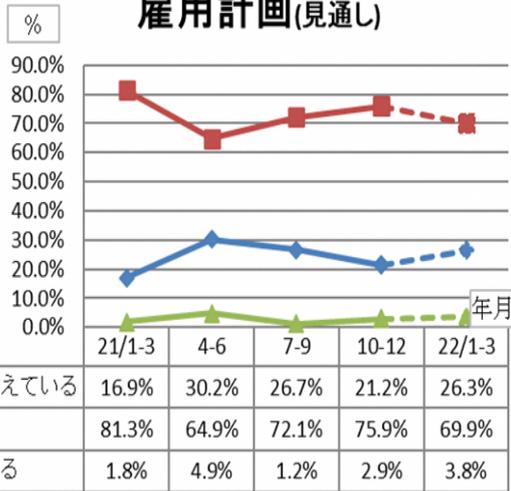
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



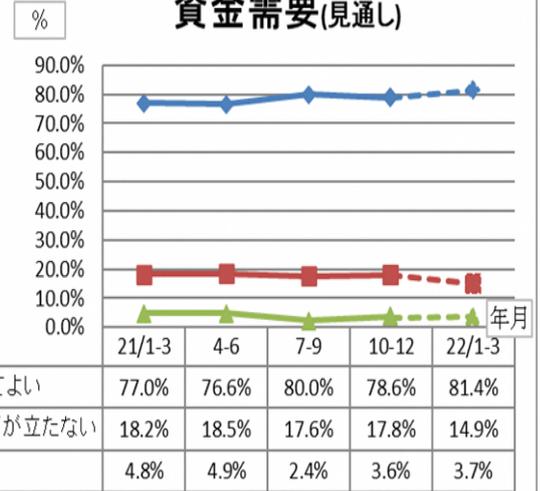
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)



■今後の取り組みについてについて

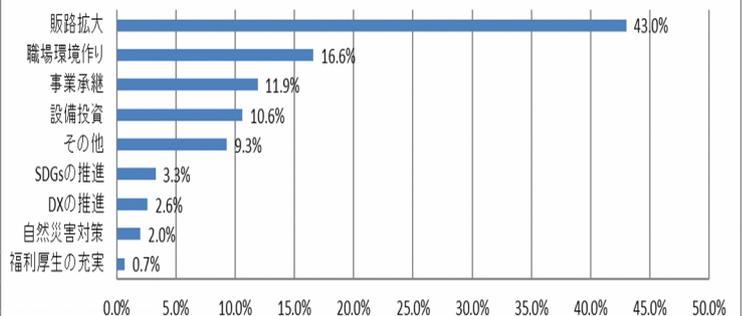
今後、重点的に取組を検討していることを1つ選択してください。

また、その取組を実施する上での課題があれば教えてください。

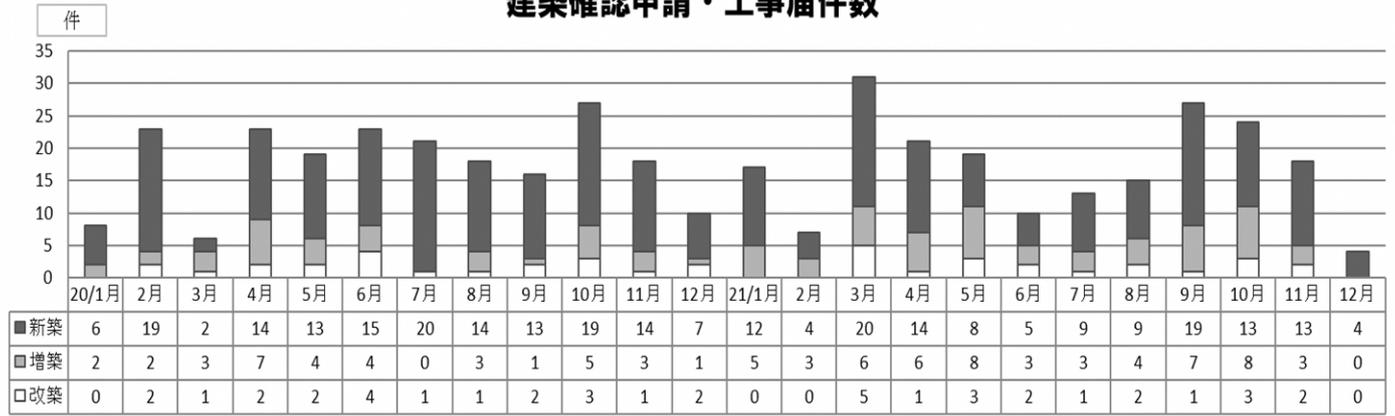
【選択項目に対する主なコメント】

販路の拡大	販促強化(利益率、オンラインショップ)。
職場環境	従業員の高齢化。新入社員が定着できる環境作り。
事業承継	後継者おらず数年後には廃業予定で先行きが懸念。
設備投資	設備等の老朽化。新たな投資を行うのにも課題がある。 コロナにより技能実習生が入国出来ないことへの対応。 設備投資検討中だがコロナ特別融資枠限度額で踏み切れない。 脱炭素化に向けて設備投資を行うための人員確保等。
その他	飲食店の売上に左右されない売上基盤の確立。 製造ラインが円滑に流れる様な配置を検討。 最低賃金が上昇している中、大手企業はコストアップが消極的。 少子高齢化、若者の地域外流失、顧客・従業員の高齢化への対応。
SDGsの推進	持続可能な経営を目指すためSDGsの他、後継者教育。
DXの推進	カーボンニュートラルへ向けての設備や環境改善への取り組み方。 人材不足をDXで改善したい。

今後、重点的に取組を検討している課題

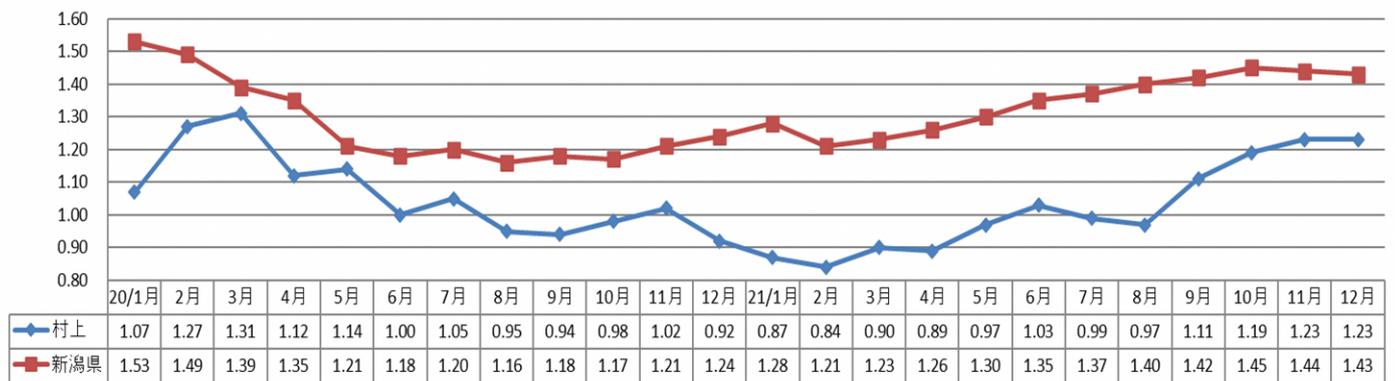


建築確認申請・工事届件数



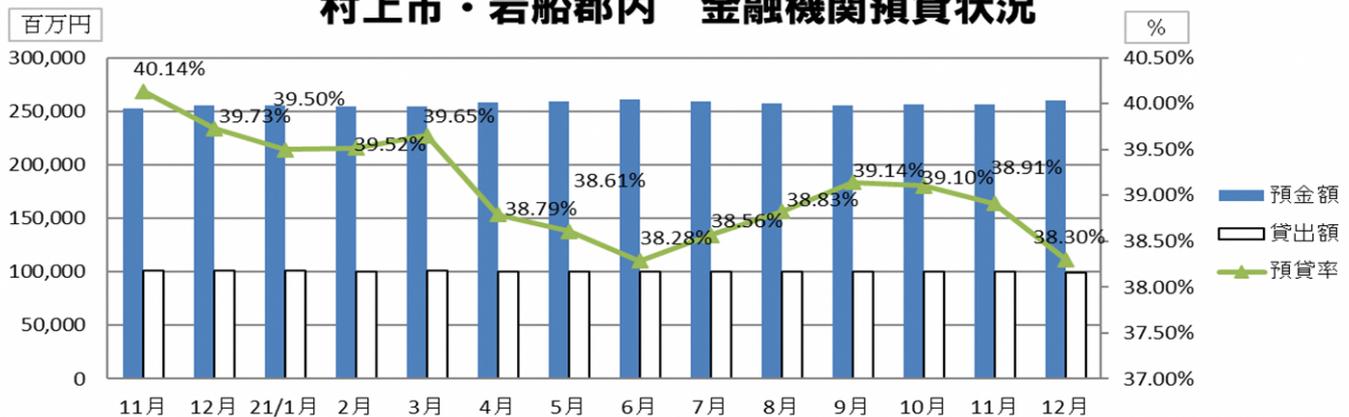
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2021年12月中旬～2022年1月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:164社(回収率82.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2021.10-12実績・2022.1-3見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)